

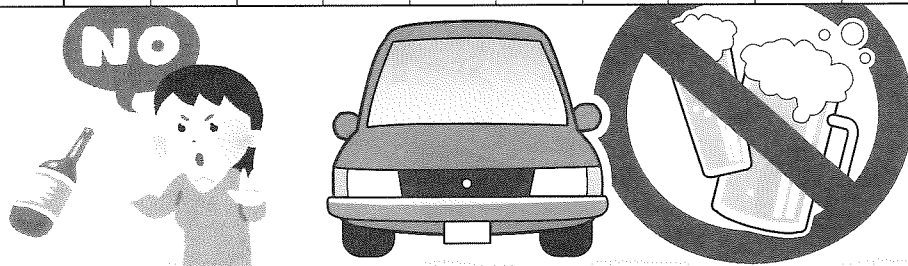
飲酒運転を絶対に「しない・させない」

人の行動はコロナ禍前に戻っても…

通行目的別飲酒死亡・重傷事故件数 [令和元年～令和5年]

	飲食	通勤	買物	訪問	送迎	ドライブ	観光・娯楽	業務	私用その他	調査不能
令和元年	150	54	58	56	23	27	21	25	140	31
令和2年	144	46	53	45	24	27	22	17	103	31
対前年増減率	-4.0	-14.8	-8.6	-19.6	4.3	0.0	4.8	-32.0	-26.4	0.0
令和3年	125	42	42	42	20	31	12	20	81	25
対前年増減率	-13.2	-8.7	-20.8	-6.7	-16.7	14.8	-45.5	17.6	-21.4	-19.4
令和4年	106	36	36	39	27	25	14	11	73	27
対前年増減率	-15.2	-14.3	-14.3	-7.1	35.0	-19.4	16.7	-45.0	-9.9	8.0
令和5年	135	50	46	31	27	26	21	12	61	26
対前年増減率	27.4	38.9	27.8	-20.5	0.0	4.0	50.0	9.1	-16.4	-3.7

令和5年の飲酒死亡事故件数は前年の120人から112人と減少しましたが、重傷を含む事故件数は274件から323件とおよそ18%増加しています。



通行目的別では、「飲食」が最多で135件（前年比27・4%増）、次いで「通勤」50件、「買物」46件と続いています。増加率は「観光娯楽」が50%増で最多、人の行動とともに飲酒死亡・重傷事故件数も新型コロナ禍前の状態になりつつあります。

【飲酒運転死亡事故の特徴】

- ・死亡事故の比率は、「飲酒無し」のおよそ6倍。
- ・単独の死亡事故が58%で過半数であるが、飲酒運転死亡事故のおよそ3割で第3者を死亡させている。

- ・死亡事故運転者の飲酒状況は、酒酔い・酒気帯び（0・25mg/1以上）がおよそ7割。
- ・運転者は「自分は酔っていない」「飲酒から時間がたち、酔いはさめている」などの「自分は大丈夫だ」という根拠のない思い込みをしている。

私たちの一人一人が飲酒運転による死亡・重傷事故を発生させないよう、飲酒運転を「しない・させない」取り組み・注意喚起を実施していきましょう。